

# Mizuho

## ピコカップラー

1本のワイヤーアンテナでHFから50MHzまで運用できるアンテナカップラー

# KX-S9 (完成品)

¥ 11,500+税



KX-S9は、10W以下のローパワー運用に、特に移動運用や、ホームシャックにあっても、建物の立地条件で、タワーや大型ビームアンテナが建てられない場合、1本のロングワイヤーアンテナで3.5MHz~50MHzバンドまで楽しむことができます。アンテナカップラーはアンテナチューナーとも呼ばれ、ハム局だけでなく、BCLの受信用としても、性能を発揮します。

### KX-S9の働きと特長

本機の回路は第1図のように、3ヶ所のバリコンとタップ付コイルと、そのタップ切換スイッチにより構成しています。

このπ-Cマッチは、バリコンを3ヶ所も使用していますが、これは、より完全にマッチング(整合)をとるためです。

例えば、10mのロングワイヤーアンテナとアース(又は10mのカウンターポイズ)を、カップラーな

して使用すると、実用になるのは7MHz(1/4波長アンテナ)と21MHz(1 1/2波長)だけです。他のバンドはミスマッチを生じ、受信はできても送信時はSWRが無限大に近くなってしまいます。

それが、KX-S9の使用で、どのバンドにおいてもSWR ≒ 1.0に合わせられます。

それは、カップラーのコイルとバリコンが、任意の長さのワイヤーに延長コイル又は短縮コンデンサーを付けるのと同じ働きをして、目的のバンドに共振(同調)させるので、BCI、TVIの軽減と同時に受信プリセクターとして働きます。

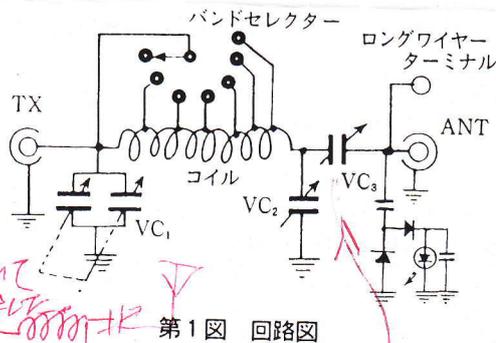
### 主な定格

1. 回路方式	パイ-C回路
2. 周波数範囲	3.5~50 MHz
3. バンド	7バンド
4. 通過電力	10W以下
5. 入力、出力インピーダンス	50~600Ω
6. サイズ	幅162×高さ55×奥行き130
7. 重量	800g
8. 付加回路	チューニング インジケータ (LEDによる同調表示)

### カップラーの接続方法

第2図のように、KX-S9は無線機とアンテナの間に接続します。

現在市販のトランシーバーの出力は、50Ωに統一



第1図 回路図

カ72  
KX1  
KX2  
うらまは中波  
用として入力して  
出力

